



2020年8月7日

会社名 ケミプロ化成株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 俊寿志
(コード: 4960 東証第2部)
問合せ先 財務経理部長 徳地昭博
(TEL: 078-393-2524)

業績予想と配当予想に関するお知らせ

未定としておりました、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想および配当予想について下記の通りといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績および配当予想の修正について

(1) 2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回予想(B)	10,000	300	100	50	3.05
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(参考)前期実績 (2020年3月期)	10,596	386	161	90	5.54

(2) 2021年3月期配当予想

	年間配当金			
	第2四半期	期末	合計	配当性向
前回予想(A)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	% —
今回予想(B)	0.00	2.00	2.00	65.5
(参考)前期実績 (2020年3月期)	0.00	3.50	3.50	63.2

2. 業績および配当予想公表にいたる背景

(1) 業績について

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月11日付の2020年3月期決算短信において、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりました。

現段階におきましても、業績予想を算定する難しさに変化はありませんが、2020年4月以降のマーケット動向や今後の見込み等を慎重に検討し、次の通り2021年3月期の通期業績予想を開示させていただきます。

売上高においては、経済活動の停滞から紫外線吸収剤などの添加剤や受託製造製品等の主力製品において、前年度対比大きな減収が見込まれる一方で、添加剤の新規製品での販売強化、受託製造製品等では品目拡充等に注力し減収幅を圧縮することで10,000百万円を見込んでおります。また利益面につきましては、減収にともなう減益を利益率の高い製品の販売比率を上げ、更なる生産性の向上と一層の経費圧縮等に努めることでカバーし、営業利益300百万円、経常利益100百万円、当期純利益50百万円となる予想であります。

現下の環境を考えれば、今後も国内外経済状況の変動は激しいものと考えられ2021年3月期の業績予想につきましては、適時に見直して参る計画です。したがって、業績予想の修正を決定した場合には速やかに開示いたします。

(2) 配当について

2021年3月期の配当予想額につきましては、2020年5月11日付の2020年3月期決算短信において新型コロナウイルス感染症による業績への影響を合理的に算定することが困難なことから未定としたうえで、配当性向につきましては2020年3月期と同水準とさせていただきます。

今回業績予想の公表をさせていただいたことから、配当予想を2.00円とさせていただきます。

以上